

しゃっちょうは行く!

100

Broaden your horizons ⑩〇 ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう児島恵美子です。

「6回だけ、お願いします!」。そう言われて筆を執ったのですが……気づけば100回目です。皆さまのご愛読とご支援がなければ、ここまで筆を執り続けることはなかったと思います。あらためて、心より厚くお礼申し上げます。薬剤師を取り巻く環境が激動を続ける限り、執筆を続けたいと考えております。皆さまと共に視野を広げたいと思います。

さて、3月末に熊本県で「第134回日本薬学会年会」が開催されました。私もポスター発表しました。国家試験の「実務」領域を現場の先生方に解いていただき、正答率を比較するという内容です。薬剤師の正答率は22~100%とかなりの幅がありましたよ(笑)。第99回国試では、リアップが出題されました。

《問255》 一般用医薬品であるリアップX5 (5%ミノキシジル製剤) を求めて女性が薬局を訪れた。販売時の来局者への対応として重要性の最も低いのはどれか。1つ選べ。

- 1 使用者の年齢を確認した。
- 2 使用者の性別を確認した。
- 3 使用者に気管支ぜん息の既往歴がないことを確認した。
- 4 使用者に高血圧の既往歴がないことを確認した。
- 5 使用者に心臓・腎臓の障害がないことを確認した。

さて、皆さんは何番にマークしますか? 正解は「3」です。

リアップは国内第1号のダイレクトOTC薬です。降圧薬として使用した場合、多毛という副作用が生じることから、その副作用を主作用に置き換えて承認を取得したものです。学生の多くは「2」をマークしました。設問のポイントは「対応として重要性の最も低い」ですから、「リアップレディ」を知らなければ解けない問題です。実務実習でOTC薬を学ぶ機会があったか?で差が出たかもしれません。

セルフメディケーションの推進が叫ばれる中、実習で現役薬剤師から多くを学び、さらに知識を増強して現場デビューを果たした彼ら、彼女らに負けてはいられません。第99回国試の難しさは、前回の平均点を22点下回ったことでもお分かりいただけるでしょう。その難関を突破した新薬剤師に負けないよう、一緒に勉強していきましょう!

Medisere (メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子

◆プレゼントのお知らせ◆ コラム100回記念として、「第99回薬剤師国家試験解答解説書」を100名の方にプレゼントします。メディセレHPのinfoで「コラムを見た!」とお申し込みください。当選結果は解説書の発送(6月初旬)をもって代えさせていただきます。